



令和5年度 南九州大学・南九州大学短期大学部入学式 式辞

式辞 新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。南九州大学・南九州大学短期大学部の教職員を代表して、心よりお祝いを申し上げます。また、新入生のご家族や関係者の皆様に心からお喜び申し上げます。さらに、お忙しい中、来賓としてご臨席を賜りました都城市 副市長 児玉 宏紀様に厚くお礼申し上げます。

南九州大学および南九州大学短期大学部は、宮崎県内で最初に設立された私立大学として、55年以上の歴史を刻んでまいりました。その間、着実に発展し、現在、大学は環境園芸学部、健康栄養学部、人間発達学部の三学部四学科を擁し、短期大学部は国際教養学科の一学科から成っています。さらに大学院の一研究科を合わせて、都城キャンパスと宮崎キャンパスの2キャンパスで特色ある教育研究を行っています。卒業生は合わせて16,000名を超えており、みなさんの先輩たちが社会の様々な分野で活躍しています。

令和5年度から南九州短期大学は南九州大学短期大学部に学校名が変更になりました。南九州大学と南九州大学短期大学部が教育研究について今までにも増して有機的に連携していきます。また、本学の「食・緑・人」に関する専門分野の学びに加え、文系・理系の知識を融合した分野横断的な学びも推進していきます。

さて、皆さんは高校時代の3年間に新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。学校行事が中止または縮小されて無念な思いをしたこともあるのではないのでしょうか。そのような状況の中でも工夫をしながら充実した学校生活を送ってきたことと察します。

皆さんは入学にあたり、これからの大学生活で何を楽しみにしているでしょうか。

大学では新たに同級生や先輩たちと交友を持つことになるでしょう。本学で友人たちとともに切磋琢磨しながら専門分野について学び、新しい知識や技能を身につけていってください。

また、課外活動としてサークル活動を楽しみにしている人もいることでしょう。大学祭としては都城キャンパスの「ひばり祭」、宮崎キャンパスの「きりしま祭」が学生主体で開催されます。そのような活動や行事についてもぜひ先輩たちとともに積極的に取り組み、活気に満ちたキャンパスを作り上げてください。それにより、皆さんのキャンパスライフはより充実したものとなることでしょう。

本学は地域に根ざす大学として、自治体や企業との共同研究を実施するとともに、地域連携活動を推進しており、その取組の中で地域の様々な方々と接する機会も出てくることと思います。同じ大学で学ぶ者同士で、あるときは学外の様々な人たちと出会い、グループで一つの目標に向けて取り組むこともあるでしょう。

皆さんが将来を担う社会では、考え方や性格などが異なる多様な人たちとチー

ムワークを駆使しながら目標に到達できる能力や、多様な人たちを束ねるリーダーシップが求められます。自分と考えの違う人の意見を聞き、複数の人の意見を踏まえ、直面している課題に最終的に自分の判断を下して立ち向かう「知恵と決断力」を大学生活の中で養って行ってください。

いまから2000年ほど前の時代には、ぶどう酒は動物の皮の袋に入れられていました。聖書からきていることわざに次のような言葉があります。「新しいぶどう酒を古い皮袋に入れたりはいけません。新しいぶどう酒は新しい皮袋に入れます。」

これは、新しい時代には新しい考え方が相応しく、新しい考えを实行するためには新しい形式が必要であるということを指しています。もちろん以前からの価値観に則り変えるべきでないこともあります。私たちは新しい取組を新しい価値観のもとで進めていく努力をしていく必要があります。

約3年の間、コロナの影響により、実行することが叶わなかったことをこの大学生活の間にぜひ積極的に進めて行ってください。新入生の皆さんが、新しいことを実行できるように、いま皆さんの後方に座っている教職員は全力で支援していきます。一年生の時から、将来就職して、社会人として何がしたいのかということを中心に意識し、その目標に向かって着実に自己研鑽を積んでもらいたいと願っています。

最後に、新入生の皆さんにとって、これからの大学生活が、真に実りの多いものとなることを心より祈念して、お祝いと歓迎の言葉といたします。

令和5年4月6日
南九州大学
南九州大学短期大学部
学長 中瀬 昌之